

(件 名) 高校の部不正会計の存在を認めた県テニス協会、内部通報者を除名処分にしたテニス協会に謝罪を求める陳情書

(陳情の趣旨)

県テニス協会は公的団体です。毎年、県スポーツ協会から「県補助事業」として県民税が交付されています。そのテニス協会で、高校の部の不正を正そうとしていた人が、不当に、解任・除名されました。それ以降、本人だけでなく、家族も深刻な状況に置かれています。問題が解消されることを陳情します。

(陳情の具体的項目)

今から3年前の5月29日“高校の部に不正会計があります。執行部で調査しましょう”と提案した人にその後、常任理事会に来させて“今後この会計不正は外部に出さない”という署名をするよう皆のいる前で強く求めたそうです。恐怖を感じたそうです。拒否したらその場で解任処分になり、協会はその後の総会の出席も拒否しました。総会への出席は事前に可と伝えられていたそうで、本人は、騙されたと言っています。更に翌年の3月には本人は除名になりました。

しかし、2023年6月から協会自身が高校の部の会計不正を認める発言をするようになり、更に第三者委員会の報告が2024年6月30日に出て、約300万の不正が明らかになりました。と同時に報告は、その不正をひた隠してきた執行部の責任問題にも触れています。

協会の会計健全化の為に声をあげた人に対して、現在に至っても謝罪の言葉は一言もありません。感謝の言葉があっても当然だと思いますが。

本人が脅迫的に県テニス協会を追われてから3年以上の月日が過ぎました。

本人はもとより、家族も生活は一変し重石を心に抱えているような日々が続いています。

謝罪と、本人の原状復帰などが叶えられよう、協会に対して適切なご指導をされることを陳情します。